



伝統のミニ門松づくりを体験した参加者

伝統文化を次世代へ継承

■ミニ門松づくり/NPO法人 勝間田塾

NPO法人勝間田塾は、12月20日と21日の2日間にわたり「ミニ門松づくり」を開きました。お正月の伝統文化を次世代に継承していきたいと、子どもたちを対象に5年前から開催しています。門松づくりには、小学生親子や高校生ら約30人が参加。勝間田塾のメンバーが講師となって指導を行いました。参加した高校生は、「門松づくりを通じて、自然や伝統を守っていききたいという気持ちが高まった」と話してくれました。

宝くじ助成で公民館などを整備

■自治総合センターコミュニティ助成事業

第5町内会(牧之原区)では、宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターが行う「コミュニティ助成事業」を活用し、公民館およびエアコンや机、椅子、ホワイトボード、電磁調理器、書棚などの公民館備品を整備しました。この事業により、地域住民の誰もが安心して、たくさん公民館を利用することができるようになり、地域に密着したコミュニティ活動の活性化が期待されます。



整備された第5町内会公民館の外観

気づきと創意工夫で省エネルギー

■省エネセミナー

エコアクション21の推進を目的として、市と県環境資源協会の共催で、「省エネセミナー」が12月3日、い〜らで開かれました。セミナーでは、プロジェクトデザインセンターの岩井高人氏を講師に迎え、エネルギーロス改善型省エネをテーマに、事業所における消費エネルギー削減に向けたポイントを学びました。県地球温暖化防止活動推進センターの服部乃利子氏らを加えたパネルディスカッションもあり、省エネへの活発な意見交換が行われていました。



エネルギー政策などについてのパネルディスカッション



更新された3台の消防車両

最新鋭の消防車両を配備

■市消防団消防車両交付式

住民の生命、財産を災害などから守るため、地域の要として活動する消防団の消防車両交付式が12月22日、市役所榛原庁舎駐車場で執り行われました。交付式では、国から1台、市から2台の消防車両が市長より団長へ管理委任されました。野々本好剛団長は「大事に使用し、消火活動だけでなく広報活動などにも活用してほしい」と呼び掛けました。管理委任された分団の団員らは、早速、最新鋭の機材の操作方法などを学んでいました。



受賞の喜びを市長に報告する萩間小学校の児童

きれいな花を咲かせました

■萩間小学校「環境大臣賞」を受賞

学校花壇のコンクール「フラワー・ブロー・コンクール」平成26年度秋花壇の部で、環境大臣賞を受賞した萩間小学校の児童が12月10日、西原市長に受賞の喜びを報告しました。「虹のかけはし」をテーマにした花壇は、花いっぱい委員会の児童らが種から一生懸命育て、色とりどりのきれいな花が咲きそろいました。委員長で6年生の戸塚麗さんは、受賞した花壇の写真を披露しながら「みんなと協力してきれいな花を咲かせることができて楽しかった」と感想を話してくれました。

市民の交通安全意識を高める

■年末の交通安全県民運動出発式

年末の交通安全県民運動が始まった12月15日、市役所榛原庁舎周辺の幹線道路で、交通安全パレードが行われました。パレードには、牧之原警察署、交通安全協会牧之原地区支部、榛原地区安全運転管理協会、市交通指導員など関係団体約50人が参加しました。参加者は、静波保育園駐車場で出発式を行った後、川崎幼稚園園児の鼓隊を先頭に、のぼり旗や横断幕を掲げながら、約1キロメートルを30分かけて行進しました。



川崎幼稚園の園児による鼓隊パレード



梅太郎博士の銅像に受賞を報告する作文コンクールの受賞者

鈴木梅太郎博士の功績を顕彰

■梅っ子ビタミンフェスタ in 地頭方/地頭方小

12月13日のビタミンの日を前に、世界で最初にビタミン(ビタミンB1)を発見した鈴木梅太郎博士を顕彰する梅っ子ビタミンフェスタが12月6日、地頭方小学校で開かれました。ビタミンI(愛)作文コンクールの表彰式では、短歌544作品から選ばれた優秀作品が発表されました。小学生の部で最優秀(牧之原市長)賞を受賞した藤永翔也さん(相良小4年)は、「消防士になる夢を作品に込めました。将来は博士のように多くの人を助けたい」と話してくれました。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp